

大学の設置区別に博士課程（後期）で身につけたい知識・技能・態度をみると、私立大学では「プレゼンテーション能力」、「学際的な知識や方法論」および「研究等プロジェクトを推進するマネジメント能力」において、他の区分と比べて支持する割合が低くなっている。また、「豊かな人間性・感受性」においては逆に支持する割合が高くなっている。

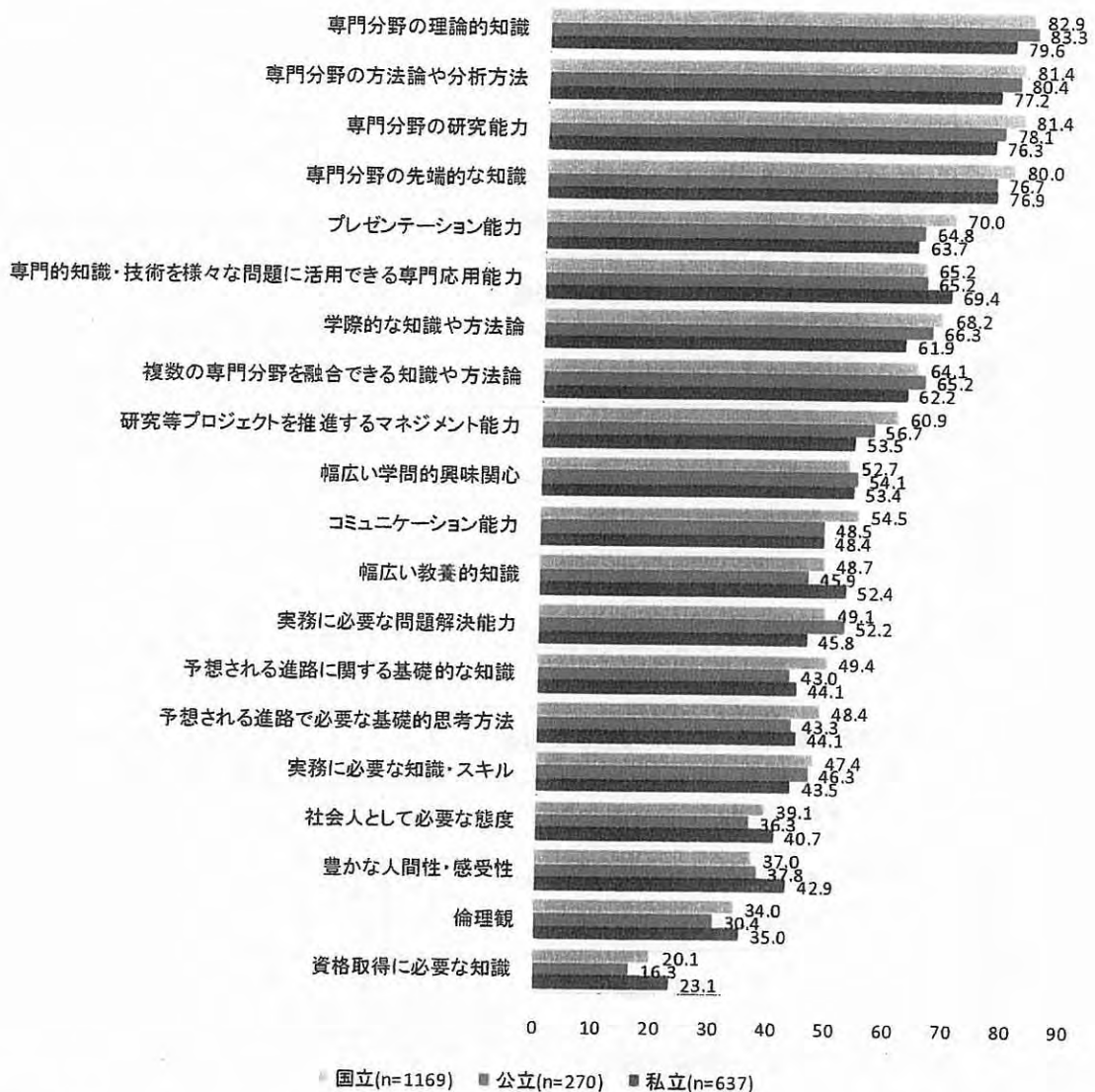


図 I - 18 大学の設置区別の博士課程（後期）で身に付けたい知識・技能・態度(%)

大学院の所在地別に博士課程（後期）で身につけたい知識・技能・態度をみると、東北地方で「実務に必要な問題解決能力」、「実務に必要な知識・スキル」など実務能力に関して他の地域よりも希望する割合が高くなっている。また、東京都では「専門分野の研究能力」、九州・沖縄地方で「倫理観」の修得希望が他の地域と比べて高くなっている。

専攻分野別にみると、人文科学系は、「専門分野の理論的知識」、「専門分野の方法論や分析方法」、「専門分野の研究能力」、「幅広い教養的知識」、「豊かな人間性・感受性」など多くの項目で他の分野に比べて回答割合が高かった。また、保健系においても「実務に必要な知識・スキル」、「資格取得に必要な知識」などの項目で回答割合が他の分野より高かった。

図 I-19 大学の所在地別の博士課程（後期）で身に付けたい知識・技能・態度（％）

	専門分野の理論的知識	専門分野の方法論や分析方法	専門分野の研究能力	専門分野の先端的な知識	プレゼンテーション能力	専門応用能力	専門的知識・技術を様々な問題に活用できる	学際的な知識や方法論	複数の専門分野を融合できる知識や方法論	能力	研究等プロジェクトを推進するマネジメント	幅広い学問的興味関心	コミュニケーション能力	幅広い教養的知識	実務に必要な問題解決能力	予想される進路に関する基礎的な知識	予想される進路に必要な基礎的思考方法	実務に必要な知識・スキル	社会人として必要な態度	豊かな人間性・感受性	倫理観	資格取得に必要な知識
北海道(n=98)	85.7	85.7	81.6	80.6	74.5	65.3	65.3	66.3	58.2	55.1	57.1	48.0	55.1	48.0	44.9	48.0	49.0	40.8	37.8	34.7	21.4	
東北地方(n=155)	81.3	80.6	80.0	76.8	67.7	65.8	65.8	61.9	60.6	56.1	51.6	54.2	58.1	56.1	49.7	47.1	55.5	45.2	38.7	36.8	25.8	
東京都(n=310)	85.2	86.1	84.8	82.9	69.7	68.4	68.4	63.2	58.1	55.8	55.8	54.5	47.1	44.5	49.7	49.7	44.5	39.7	42.9	36.1	18.4	
東京都以外の関東地方(n=270)	76.7	75.9	74.8	77.4	65.2	67.0	67.0	61.5	62.2	52.5	50.4	51.9	48.9	48.1	46.3	48.5	48.1	39.6	39.6	31.9	19.6	
中部地方(n=308)	84.7	81.2	77.9	78.9	68.5	63.0	63.0	64.0	56.8	47.1	63.2	46.4	45.5	41.9	43.8	43.2	41.9	38.6	36.0	30.5	22.1	
近畿地方(n=509)	82.9	79.8	80.2	78.8	66.2	67.0	67.0	65.0	55.8	53.4	47.7	46.8	45.4	42.2	46.2	46.2	42.2	36.9	37.9	32.5	17.3	
中国地方(n=141)	80.9	73.8	76.5	75.9	65.2	68.1	68.1	61.7	56.0	53.2	51.1	44.7	49.6	48.6	41.8	41.8	48.6	40.4	34.8	30.5	20.6	
四国地方(n=43)	76.7	69.8	74.4	76.7	65.1	62.8	62.8	57.4	55.8	62.8	55.8	39.5	51.2	53.5	34.9	39.5	53.5	37.2	39.5	30.2	25.6	
九州・沖縄地方(n=238)	79.0	78.6	80.3	76.5	66.8	67.6	67.6	63.4	60.1	52.5	52.9	52.1	50.4	48.7	47.5	47.5	48.7	38.7	41.6	35.9	24.4	

6 博士課程（後期）で身につくと見込まれる知識・技能・態度

前項では博士課程（後期）の教育研究を通じて、身につけたい知識・技能・態度について尋ねた結果を示したが、ここでは同じ選択肢について課程修了時に身に付いていると見込まれる知識・技能・態度を尋ねている。その結果、もっとも見込みが多かったのは「専門分野の理論的知識」で65%、次いで「専門分野の方法論や分析方法」64%、「専門分野の研究能力」59%などが続いている。

上位の5位までについては、身につけたい項目と身に付いていると見込まれる項目は一致している。「実務に必要な問題解決能力」、「複数の専門分野を融合できる知識や方法論」、「専門的知識・技術を様々な問題に活用できる専門応用能力」、「幅広い教養的知識」、「研究等プロジェクトを推進するマネジメント能力」については、身に付けたいと考えているものの、博士課程修了時に身に付いていると見込みにくい項目である。

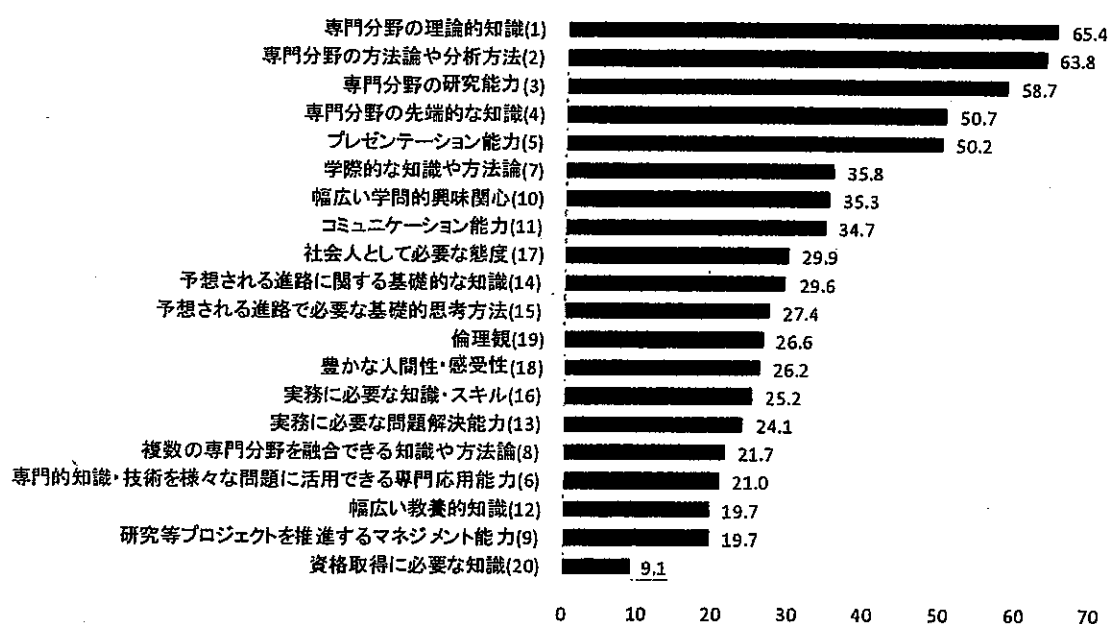


図 I - 20 博士課程（後期）修了時に身に付いていると見込まれる知識・技能・態度

(n=2076,%)

※括弧内は、博士課程で身につけたい知識・技能・態度の順位